

## ワールド ファッション トレード フェア'97 [WFTF'97]

3月4・5・6日開催 大阪マーチャンダイズ・マート(OMM)、マイドームおおさか

去年に引き続き2回目の出展になりますが、「WFTF」そのものをよくご存じでない方もいらっしゃるので簡単な紹介をします。これは、社団法人トータルファッション協会(ATF)が主催するもので、衣料、寝具・寝装、インテリアなど、トータルにファッションを捉えて、国内外からの出展参加を得て年に1度大阪で開催されるトレードフェアです。ファッショントレードフェア、テキスタイルフェアなど各種のものが、各地でそれぞれに開催されていますが、トータル用途でテキスタイルから最終製品までを集めた規模の大きいフェアは、日本国内ではWFTFということになります。

今回は出展社数：370社(団体を含む)、国内220社/海外150社  
参加国数：18ヶ国・地域  
入場者数：23,358名…ということでした。

TDAとしての参加理由は、テキスタイルから最終製品までが集まり、各メーカーや産地は言うまでもなく、国際羊毛事務局(IWS)や日本紡績協会などの団体も一同に会している場合は、TDAの存在とその意義を示す場として非常に有効だと判断したからです。そしてTDAとして何かを発信するからには、テキスタイルに関わる業界を対象にしたもので、さまざまな用途を包含し、しかもクリエイションの為の一步先を提案・発信しようと考えたわけです。

会員の方々にアンケートを出し、「CREATION TRENDS 2000」をまとめ、出展にいたるまでのプロセスについては、松井武雄氏のレポートにお任することにしまして、TDAでは今後も会員の多くの方々が何らかのかたちで参加でき、メリットを感じてもらえるトレンド研究のような「場」を作っていきたいと考えています。いろいろな情報やその捉え方をいろんな人達が集まって交換し、それぞれのクリエイションに役立てられるようにしたいと思っていますので、多くの方の参加をお願いします。

最後になりましたが、今回参加・ご協力いただいた方々には、心より「お疲れさまでした」を申し上げます。  
レポート [寺井洋介]

●実行委員  
実行委員長 近沢晴雄  
アートディレクター 寺井洋介  
コンセプト・ディスプレイ 山内 誠 石原 薫 鈴木洋行 寺井洋介  
造形・素材収集 橋 篤子 高橋立子 大都城みさ 平岡美子 浜野 昇  
平岡 清 松本美保子 松井武雄



### 「CREATION・TRENDS 2000」 コンセプトブースの現場から

T.D.A.は昨年に続き2回目の出展である。「インテリアテキスタイルデザイントレンドズ'96-'97」を発表したが、今回は「CREATION・TRENDS 2000」を基本コンセプトに、異素材による、テキスタイルへの新しいイメージ提案を試みた。来場者、特に企画担当の専門家に高い関心と評価を得た。

今回のコンセプト・ブース作りの経緯を簡単に紹介する。

#### ●出展について(12月上旬)

準備委員会にて、事業部理事より「出展の要請を受けたが、出展費が高く経費がかかり過ぎるから辞退した。しかし、主催者の強い要望と、テキスタイル業界に対するT.D.A.の使命とPRを兼ねて、出展を決定、ただし最低予算にて参加する。」との事であった。低予算であろうと、時間が無かりと出展する以上、来場者の目T.D.A.への期待度は同じ。だから関わる人は大変である。

#### ●コンセプトの構築(1月中旬)

2000年に向けてテキスタイルの「キーワード」を会員から募集、約50通の世相を反映したキーワードが寄せられ多数の方には心からお礼申し上げます。丁寧に分類し、基本コンセプト構築に反映させた。  
(右ページ図参照)

コンセプト作りは、特に組み立て段階の話は下手なせみより面白く、日頃の企画会議より盛り上がりを見せた。参加者全員納得、大きなテーマを時代の推移、背景等、実に分かり易く説得力のあるまとめ方になったと思う。

#### ●異素材からの提案(1月末)

何をどの様に見せていくか、従来の方法を取るならばサンプルの収集、情報分析等の展示が常識である。今回、委員が持ち寄ったアイデアはこれまでとは違う提案の仕方、流れの分岐点を明確にしたいと言う意見が一致し、すんなり「異素材一和紙、ビニール、木、金属等、その他による、これからのテキスタイルイメージへの提案。」が決定した。

#### ●具体性のあるビジュアル化(2月上旬一末)

素材を集め展示するだけでなく、何か形、物としてリアリティのある見せ方、分かり易いイメージの換気をうながすため、異素材によるコスチュームの試作を見せる案がだされた。委員にファッションデザイナー、造形作家等多才で、ここでT.D.A.の本領が発揮された。学生の文化祭的なものになるのでは、と危惧されたが作品づくりは女性の感性、主導によって成功した。

オブジェパネル、30cm×30cm 45枚 服の試作品 18着  
オブジェ 1体 コンセプトボード 2枚

異素材による服の試作はすっきりと見やすく作品として見ごたえ十分であった。

#### ●ディスプレイ(3月3日)

今回のテーマ「人」をイメージしたオブジェを入口に、白を基調にギャラリー風ブティックを連想させる、しゃれた構成になった。しかし、オブジェ、服の試作等スペースがもっとあれば更に活力あるレイアウトになったと思う。低予算にしては、一般企業には出来ないT.D.Aらしさが表現され、特に製作に当り女性委員の協力が多大であった事が印象に残るブース作りであった。

#### ●後記(3月末日)

私は、「会」というのは積極的に参加することによって何かが生まれると常々考えております。じっと待っていても何も与えてくれません。今回は新しい出会い、考え方、作品作り等楽しませていただきましたが、いつも同じメンバーが多く気になっていることです。もっと新しい人が参加し活躍することを願っています。

最後にご多忙中、土日を返して約3ヶ月間参加された委員の皆さんご苦労様でした。心からお礼申し上げます。  
レポート [松井武雄]